

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを通じて事業所の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員に個人情報に係る研修を実施し、教育を図りながら、個人情報の取扱いに注意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもや保護者との意思疎通には十分配慮しているが、手話ができる職員は配置できていない。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人が企画する行事に、児童及び保護者に参加し頂いている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		左記マニュアルのうち、防犯マニュアルは策定できていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しており、災害発生時のシミュレーションを実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		現在、利用中に服薬を必要とする児童やてんかん発作を生じる児童の利用はない。予防注射について意図的に情報を収集していない。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	食物アレルギーに係る情報は保護者から得ている。	医師の指示書を提示されたこと、得たことがない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しており、火災時の訓練や災害時の避難訓練等を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画は年度内にホームページで公表する予定である。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの共有の取組は十分ではない。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修は全職員が受講している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を必要とする事例はない。ただしこれに関する研修は実施している。	